

---

厚木看護専門学校

2019年度  
自己点検・自己評価  
報告書

---

2020 年 4 月

社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団

厚木看護専門学校

## 1. 2019年度自己点検・自己評価について

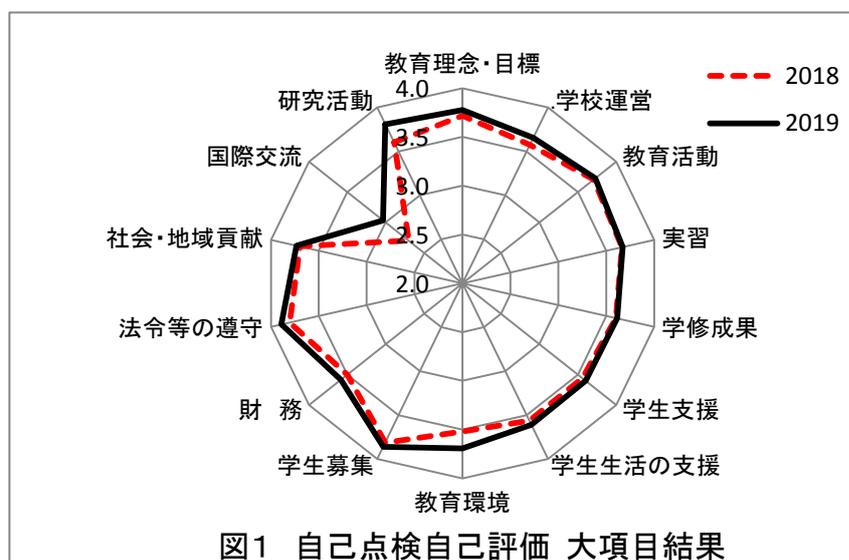
### 1) 2018年度評価に対する2019年度の取り組み総括

自己点検・自己評価については3.5以上の評価を目指している。2018年度の結果は全体平均3.6、下位項目は「6.教育環境」「8.財務」の3.5と「11.国際交流」の2.7の3項目であった。2019年度の重点課題と取り組みは、以下の通りである。

- (1) 教育環境：3.5未満の項目は、①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか、②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているかの2項目であった。学習教材の整備が十分に実施できていないことや海外研修等の教育体制が整備されていないことが結果に反映されていた。また、自然災害が多発していることから、さらなる防災への取り組みの強化が必要と考えられた。
- (2) 財務：前年度と同様の評価を維持していたが、①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるかは前年度より0.2低下した。これに対して、自助努力が可能な項目を洗い出し取り組んだ。
- (3) 国際交流：①海外留学についての戦略を持っていない実態が結果に反映されていたため、留学の支援体制の検討を開始した。また、日本国籍を持たない学生への国家試験受験に向けた支援や卒業留学のための外国語での証明書発行等の支援実績はあるものの、外国籍を持つ学生への支援としてシステム化されていないことが課題となった。

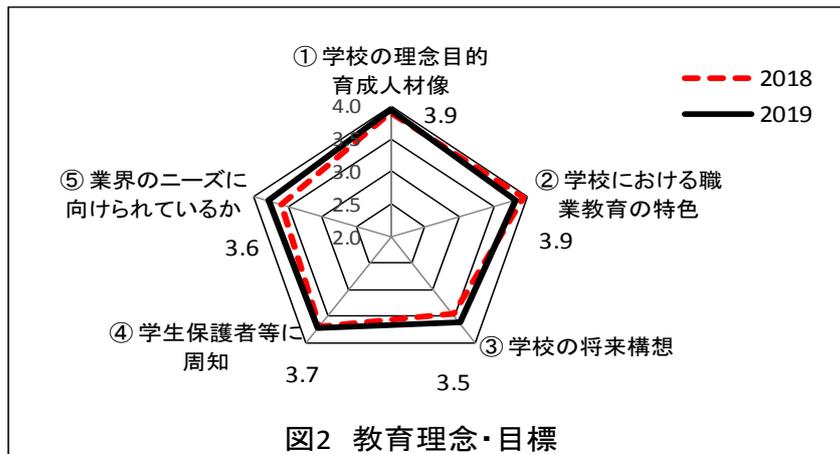
### 2) 2019年度自己点検・自己評価の実施・結果

- (1) 実施日：2020年1月6日～2020年1月10日
- (2) 対象者：全教職員32名 回収率100%
- (3) 評価項目：大項目はレーダーチャート(図1)に示す。
- (4) 評価基準：「不適切…1、やや不適切…2、ほぼ適切…3、適切…4」の4段階とした。
- (5) 結果・課題：2019年度自己点検・自己評価の結果は、全体平均3.7であった。2019年度の結果3.5以下は「国際交流」3.0の1項目であり、2020年度の重点課題とし取り組んでいく必要がある。

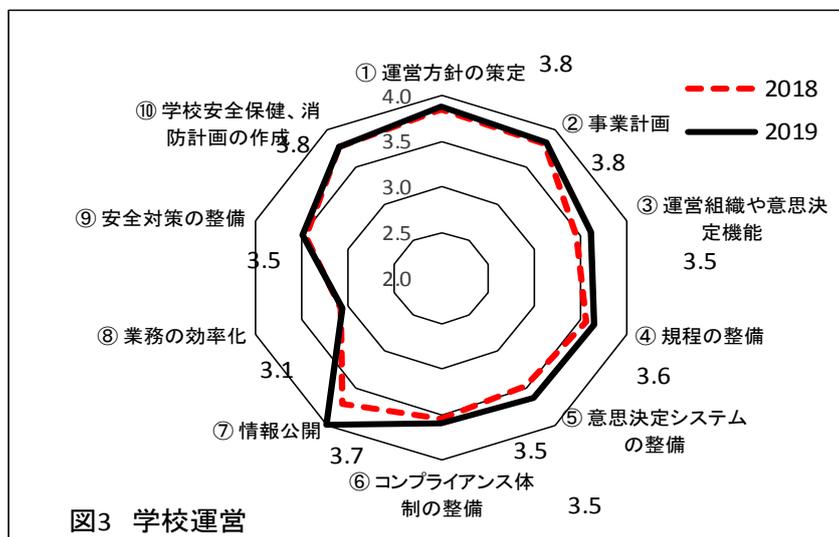


細項目の結果は以下の通りである。

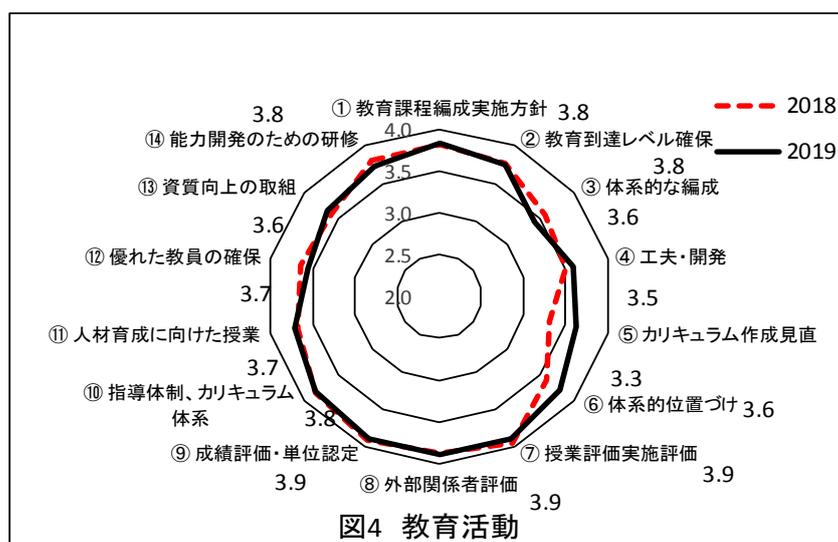
### 1 教育理念・目標



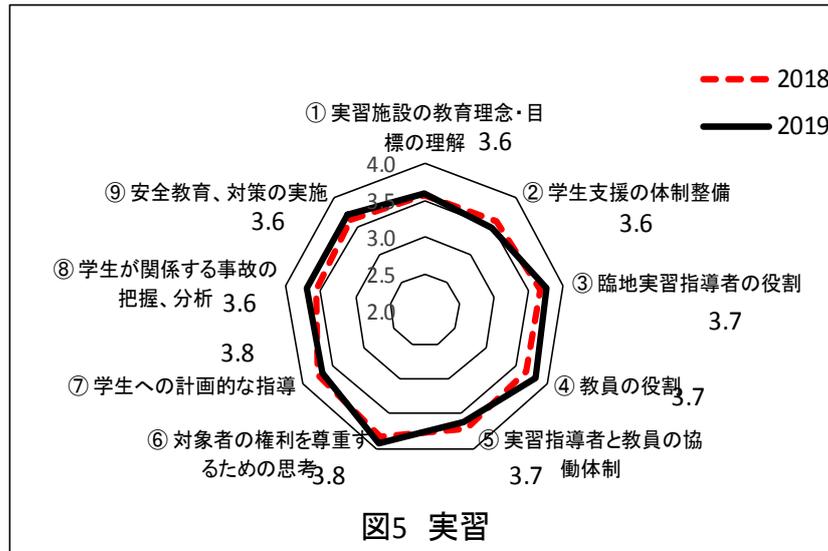
### 2 学校運営



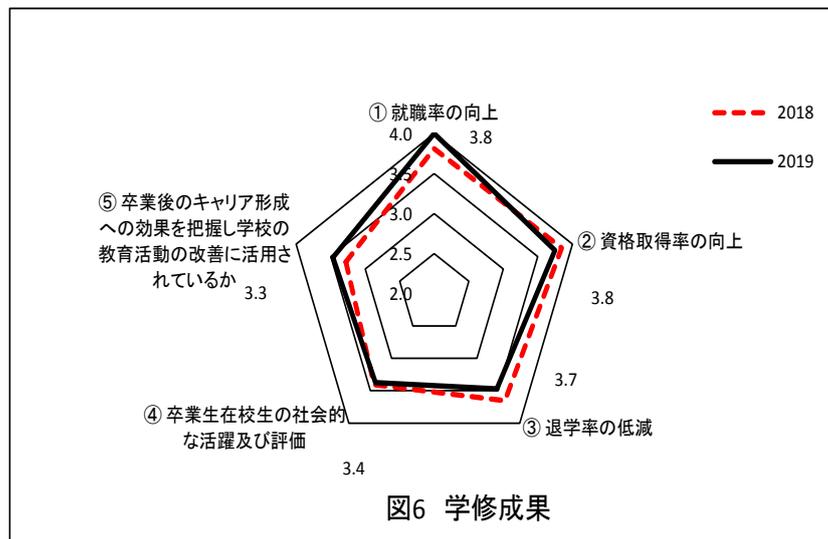
### 3-1 教育活動



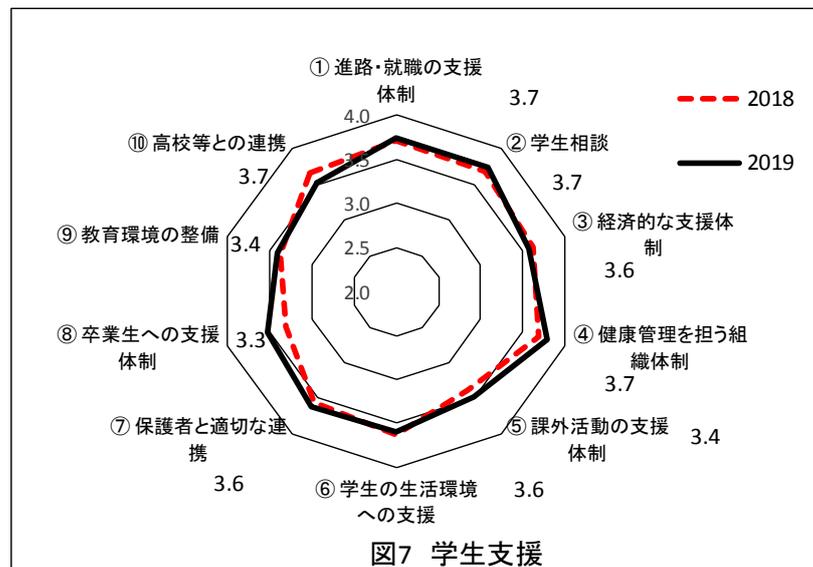
3-2 実習



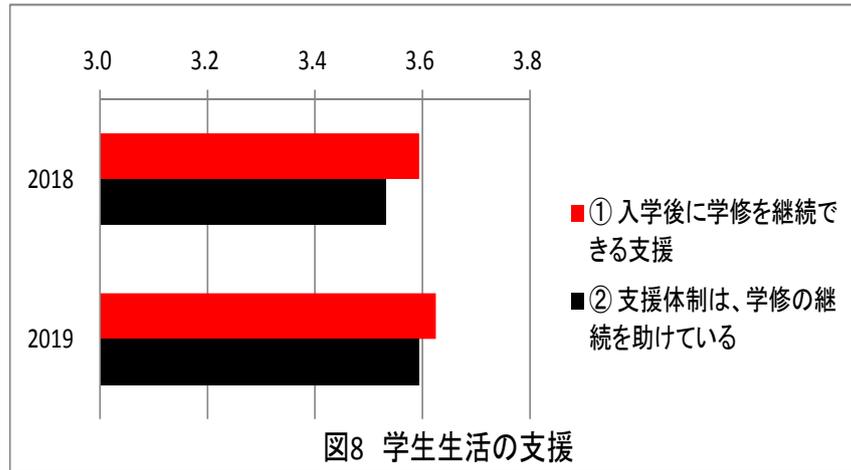
4 学修成果



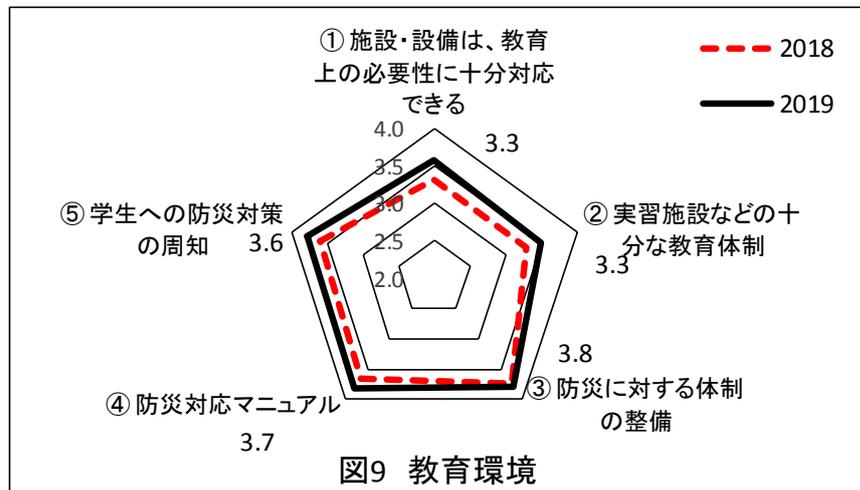
5-1 学生支援



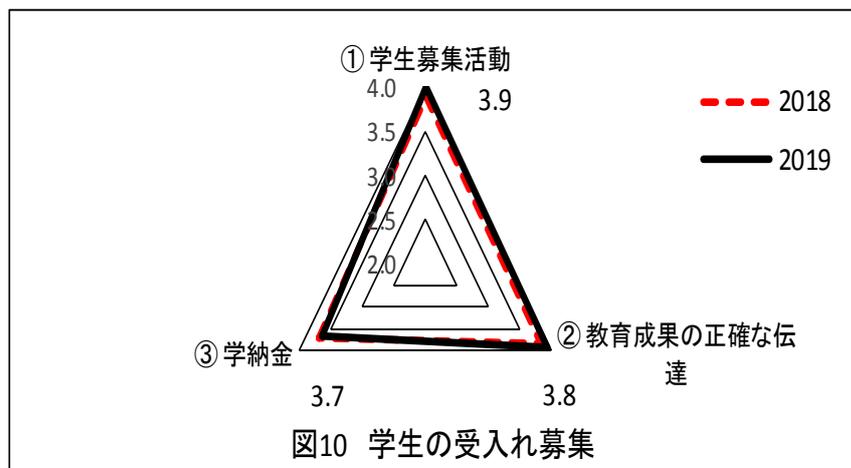
5-2 学生生活の支援



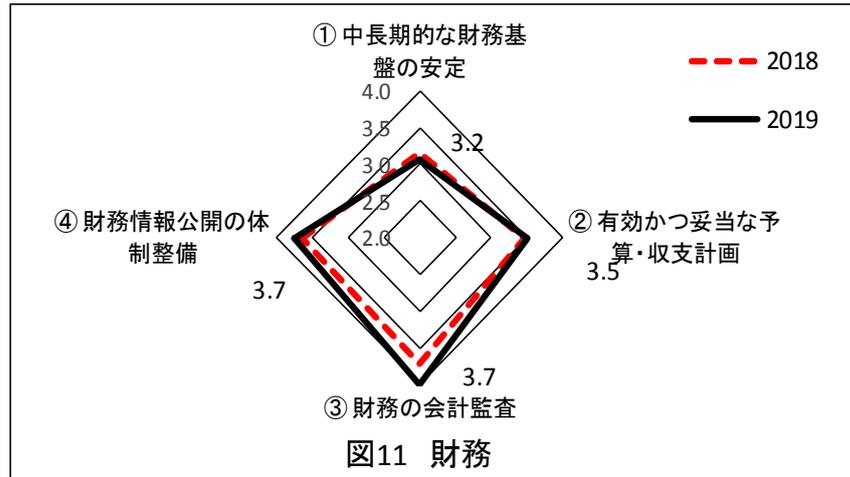
6 教育環境



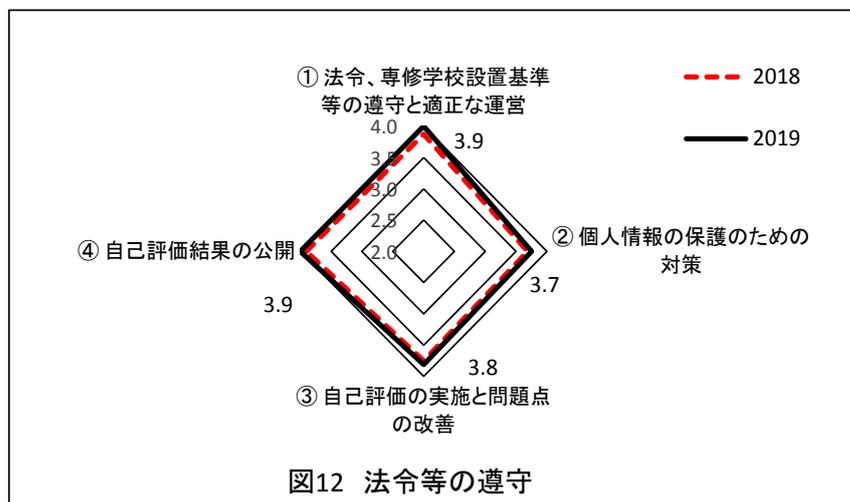
7 学生の受け入れ募集



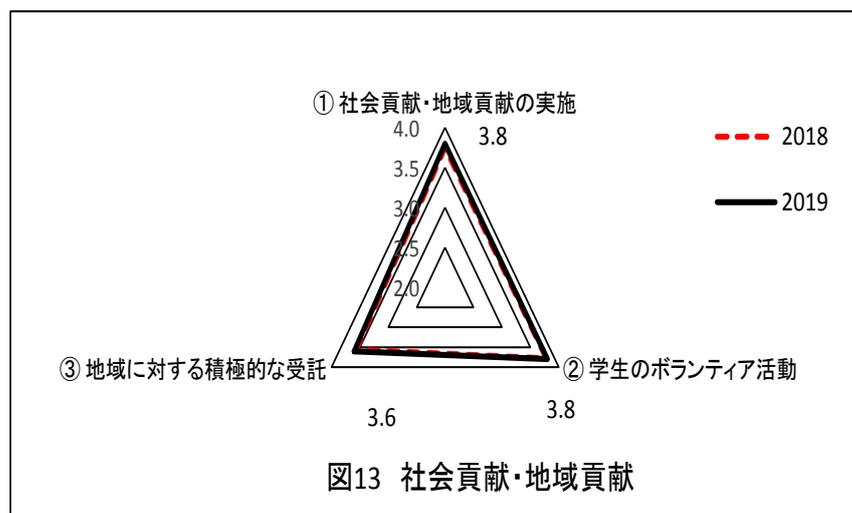
8 財務



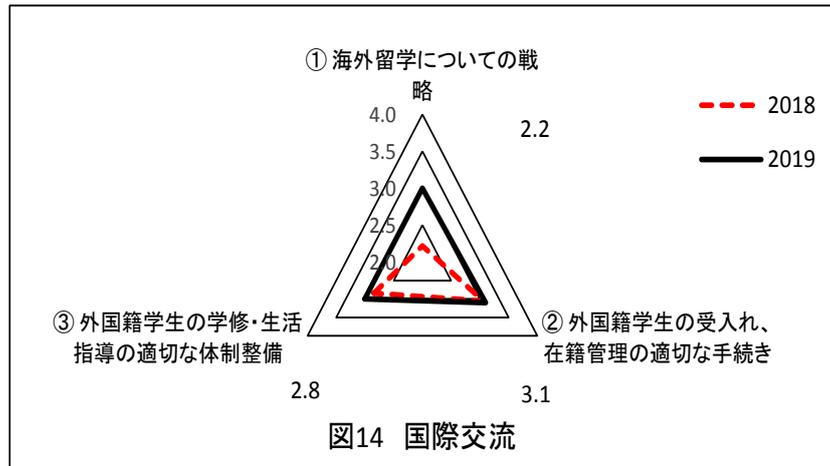
9 法令等の遵守



10 社会貢献・地域貢献



11 国際交流



12 研究活動への支援

